

主の息吹を受けたニコデモ

ヨハネ 3 : 1 - 16



司祭 ヨハネ 井田 泉

2018年5月27日・三位一体主日

奈良基督教会にて

今日は三位一体主日です。私たちの信じる神は三位一体の神。私たちを招いてくださったのは三位一体の神、私たちを愛して私たちのために働きつづけてくださるのは三位一体の神です。それをわたしたちはこの説教の後のニケヤ信経で声に出して告白します。

神はひとりの神でありながら、じっと動かない神ではない。私たちを救うために、この世界を救うために、ご自分の姿を変えて行動されます。一つの形ではなく、三重の形で行動されるのです。第1に「造り主」。世界とわたしたちを造ってくださいました。第2に「救い主」。人となられてわたしたちと共にいてくださるイエス・キリストです。第3に「命の与え主」聖霊。わたしたちの内側にまで入って働かれる方です。わたしたちを愛される愛の深さのゆえに、ただ一通りではなく三通りの姿で、父と子と聖霊という三重の形で働いてくださるひとりの神。三位一体の神です。

このように神は三つのありようをされるのですが、ひとつの共通するものがあります。それは、息吹を与えてくださる、ということです。神が最初に人を造られたとき、ご自身の命の息を人の鼻に吹き込んで、人を生きた者とされました。復活されたイエス・キリストは弟子たちに息を吹きかけて「聖霊を受けなさい」と言われました。そして聖霊降臨の日、聖霊は神の風として、神の息吹として、祈る人々の群れに激しく注がれて、教会が誕生しました。

わたしたちも神の息吹をすでにいただいています。しかし、しばしば困難に直面して窒息しそうになるわたしたちは、もっと神の息吹を受けて生きる者になりたいと願います。

今日、わたしたちが見つめたいのは、神の息吹を必要としていたひとりの人、ニコデモという人のことです。

イスラエルでは有名な教師、聖書学者、指導者でした。年齢は分かりませんが、かなりの年配で、仮に 70 歳くらいとしておきましょうか。「ユダヤ人たちの議員」（ヨハネ 3:1）と書かれていたとおり七十人からなる最高法院の議員です。社会的地位があり、尊敬を受けている人です。しかし、だれにも言いませんが、心の深いところにうずくような悩みがありました。

そのニコデモが「ある夜」、イエスを訪ねてきました。イエスは当時、ファリサイ派など影響力の強かった人々からは「秩序破壊の危険人物」と見なされていたから、人目を忍んで夜に訪ねてきたのでしょうか。また彼自身が希望の朝を見出せない夜の闇を、自分のうちに抱えていた、ということかもしれません。

ニコデモは以前からイエスのことを聞いていて、次第に彼は、イエスが神から来た方に違いないと思うようになっていました。その夜、訪ねて来たニコデモはイエスと出会って言葉を交わしました。しかし結果は物別れのようなことになってしまいました。ずいぶん失礼なことをイエスから言われたと感じたのです。

「人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」ヨハネ 3:3

「あなたはそのままでは救われない」と言われたのと同じです。ニコデモは答えて言いました。

「4年をとった者が、どうして生まれることができますでしょう。もう一度母親の胎内に入って生まれることができるでしょうか。」

「5はっきり言うておく。だれでも水と霊とによって生まれなければ、神の国に入ることはできない。6肉から生まれたものは肉である。霊から生まれたものは霊である。7『あなたがたは新たに生まれねばならない』とあなたに言ったことに、驚いてはならない。8風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞いても、それがどこから来て、どこへ行くかを知らない。霊から生まれた者も皆そのとおりである。」

するとニコデモは、「どうして、そんなことがありえましょうか」と言いました。イエスは答えて言われました。

「10あなたはイスラエルの教師でありながら、こんなことが分からないのか。」

ニコデモは面子をつぶされた思いでイエスのもとを立ち去りました。けれども彼は心の奥で、イエスが自分のもっとも危ういところ、実は救いを必要としている自分の深みに触れたと感じていました。しかし今からどんな努力をして、新しく生まれ

る、生まれ変わるなどできるでしょうか。

「8 風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞いても、それがどこから来て、どこへ行くかを知らない。霊から生まれた者も皆そのとおりである。」

この謎のような言葉がずっと彼の中に残りました。しかし実はこの出会いにおいてすでに、イエスはこの風を、言い換えれば神の息吹を、ニコデモに吹き込んでおられたのです。

2～3 年の間に、イエスの評判と影響力は非常に大きなものとなりました。それに比例してイエスを秩序破壊者として断罪しようとする動きも急激に高まってきました。ついに祭司長たちとファリサイ派らは行動を起こし、イエスを逮捕しました。最高法院が招集されました。最高法院は神殿冒瀆罪でイエスを死刑と定め、ローマ総督ピラトに引き渡しました。

ニコデモは本心では反対だったのです。しかしそれを言い出すことができませんでした。勇気がなかった。翌日金曜日の朝、ピラトはイエスの死刑を執行しました。ローマ皇帝に対する反逆罪。見せしめの十字架はりつけの刑でした。

午前 9 時、イエスは十字架にかけられました。6 時間後の午後 3 時、イエスは息を引き取られました。ニコデモはどのような思いでその時を過ごしたのでしょうか。

ニコデモが姿を現すのはその日の夕方です。何と彼は、大き

な荷物を担いでイエスの十字架のもとに現れたのです。^{もつやく}没薬と
^{じんこう}沈香を混ぜた物を持って（ヨハネ 19:39）。重さは100リトラ、
約33キログラム。イエスの遺体を包むための防腐剤です。ニコ
デモはイエスの体を葬るために重い荷物を持って来ました。イ
エスの葬りの準備をしながら、ニコデモの思いが溢れてきます。
ニコデモの祈りが聞こえてくる気がします。

主イエスさま

わたしはあのとき、あなたによって傷つけられたと感じまし
た。けれどもあのときあなたは、わたしの救いのために最も必
要なことを言ってくださったのです。

わたしはひそかにあなたを慕っていました。けれどももうひ
とりのわたしはあなたを拒んでいました。できることならあな
たを助けたいと思ったのに、あなたを死へと追い立てる声に抗
することはできず、あなたを見殺しにしてしまいました。

主よ、あわれんでください。主よ、ゆるしてください。

今、わたしはあなたの十字架のもとに来ました。せめてあな
たの葬りをさせてください。どうぞ今、わたしをあなたの弟子
としてください。僕としてください。あなたと共に死に、あな
たと共に葬られることをわたしは願います。主イエスさま、古
いわたしを葬ってください。……

このとき、十字架のもとで、ニコデモは新しく生まれたので
す。すでに彼はここで神の国に入れられています。あのときは

よく理解できなかつた。けれどもイエスが言われた「思いのままに吹く風」、自由に吹く神の息吹、聖霊は、イエスからニコデモの中に吹き込まれて、時至って新しいニコデモを誕生させたのです。

「だれでも水と霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできない。」 3:5

自分では不可能なことをイエスがしてくださったのです。

ニコデモを神の国に招かれた主イエスは、わたしたちをも神の国に招いておられます。わたしたちにも命の息吹を吹き込んでくださいます。なかなか理解せずそばに行こうとしないわたしたちをイエスは見捨てず、長い時間をかけて待ちつつ、わたしたちを引き寄せてくださいます。洗礼の水と霊によってイエスは、わたしたちを神の国に招き入れてくださいます。

祈りましょう。

主イエスさま、あなたがニコデモを神の国に招かれたように、わたしたちを神の国に招いてください。あなたの息吹をわたしたちに吹き込んでわたしたちを新しくしてください。自由に吹く風、聖霊によって、この世へのこだわりや心配からわたしたちを解放してください。十字架のもとにわたしたちを引き寄せてください。十字架のもとに、わたしたちの新しい命があります。その新しい命をわたしたち自身が受け、またそれを人々に広げていけるようにしてください。アーメン